



2024年5月10日

各位

会社名 株式会社 プラコー
代表者名 代表取締役社長 古野 孝志
(東証スタンダードコード6347)
問合せ先 執行役員経理部部長 早川 恵
電話 048-798-0222

業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2024年2月9日に開示いたしました2024年3月期個別業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)と本日公表の実績において差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 2024年3月期 通期個別業績予想との差異(2023年4月1日~2024年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|----------------------------|--------------|-------------|-------------|-------------|----------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 3,466 | 百万円 △159 | 百万円 △184 | 百万円 △189 | 円銭 △21.51 |
| 実績値(B) | 3,411 | △257 | △281 | △251 | △28.61 |
| 増減額(B-A) | △54 | △98 | △97 | △62 | |
| 増減率(%) | △1.6 | — | — | — | |
| (ご参考) 前期通期実績 (2023年3月期) | 3,003 | 192 | 188 | 126 | 14.85 |

2. 業績予想との差異理由

2024年3月期の業績につきましては、売上高は前回発表を若干下回り、また、営業損失、経常損失、当期純損失については大きく乖離する結果となりました。

この原因の一つは、大型工事における費用対収益の処理がズレたことによります。前回開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」での業績見通しでは、一部の機器が納入されていないことは把握していたので仕入高のみ37百万円減額にしました。しかし、売上相当分については機器納入に関し客先の対応が不明確であったため特に何も処理しませんでした。今回、売上を取消すことが妥当と判断したので売上高の37百万円を減額いたしました。次に、大型工事の外注業者に対する未収金について貸倒引当金18百万円を計上し、大型工事での追加費用が発生したことが利益悪化の原因となりました。

なお、損益悪化の主な要因は大型工事の追加工事にあります。これについては、先方には相当額の追加工事請求をしており、引き続き交渉してまいります。

詳細につきましては、本日公表いたしました「2024年3月期 決算短信(非連結)」をご参照ください。

以上